

わくわく家庭菜園



播種・定植の注意点・害虫の防除



播種・定植の注意点・害虫の防除

9月から冬春野菜の播種や定植が始まります。冬春野菜は暑い時期に播種・定植をしてどんどん日長が短くなり気温も下がってくるため、失敗後のやり直しが難しくなります。ポイントを抑え、播種・定植後の初期生育がうまくいくようにしたいですね。

【葉茎菜類】キャベツ・ハクサイ・ホウレンソウ・レタス・コマツ

ナなど

- ・アブラナ科の野菜については、前作で「根にこぶができた」「大きくならなかった」など根こぶ病の症状が見られた圃場では作付しないか、薬剤防除を作付2週間以上前に行ってから播種してください。



- ・セル等を使って育苗するときは、まずセルに入れた土に下から出てくるくらいしっかり水を掛けてください。播種後の覆土は1mmほどで厚くならないよう注意してください。
- ・セル等は直置きせず、水稻育苗箱やコンテナなどの上に置いてください。



- ・双葉が出るまでの日数は2～3日程度。それより遅い場合は、水分不足か高温障害の可能性がります。双葉が出る前に灌水したい場合は、不織布を上にかぶせた状態で灌水してください。
- ・近年、残暑が厳しく高温・高日射が続きます。ビニールハウスやトンネルで育苗する場合は、徒長しない程度に遮光ネット等を活用してください。
- ・本葉2～3枚展開した時が定植適期です。遅れないよう本圃の準備は前もって行い、定植時も圃場の土の水分はちょうどいい状態（手で握って少し塊が残る程度）にしておいてください。
- ・定植後は苗の土と本圃の土が密着するようしっかり押し込んでください。（ただし、苗表面の土まで深植えしないよう注意してください。）

【根菜類】大根、カブなど

- ・直播が多いと思います。播種時は土が乾燥していないか確認し、不足しているときは播種前に植穴や植え溝に灌水してから播種してください。
- ・覆土は3mm程度であり深植えにならないよう注意してください。
- ・まだ暑い日が多く害虫が多いので、播種時に散布する粒剤や定植時に苗に直接かけたり浸漬する液剤等を活用すると、初期生育での被害が少なくその後の生育も良好になります。（特にアブラムシは罹患すると治らないウイルス病を媒介しますのでご注意ください。）



【タマネギ】

- ・天草地域では超極早生・極早生が栽培しやすい気候ですが、植付が早すぎると玉肥大が悪かったり分球・抽苔（とう立ち）するので、適期播種・植付を行ってください。
- ・苗を購入する場合や育苗する際、箸の太さより細いものを選んだ方が良いです。太い苗は分球や抽苔しやすいです。
- ・定植は、苗の白い部分の半分が土に埋まる程度にしましょう。緑の部分まで植えてしまうと玉肥大に影響が出ます。



年々残暑が厳しくなってきました。作業の際は、熱中症にご注意ください。



分娩介助時の注意点



畜産
井上 正一
下島営農指導センター
080-1729-1626

まだ暑い日が続きますが、この時期は受胎率が低下し、牛の体力も消耗します。分娩事故にも繋がるため、分娩は確実にこなしていきましょう。分娩介助時には、滑車を使うと効率的ですが、注意点もあります。正常か逆子かなどの胎位確認が終わったら、次のことに注意しましょう。

①産道に乗った胎子の周りにおける程度のスペースがあるか

分娩時に胎子が引っ掛かる箇所は主に頭部、胸部、腰部です。特に胸部で引っ掛かると、自発呼吸ができない子牛は死んでしまいます。牽引の前に胎子の周囲をなでるように触って確認しましょう。触って楽に一周できるほどのスペースがあれば、問題なく牽引できる場合が多いです。半周ほどしか触れない、一周できるが手が骨盤に圧迫されて痛いような場合は、産道が広がるのを待ちましょう。

②頭から出てきている時は鼻先まで、後肢からの場合は外陰部から飛節が出ない程度まで引いて、牽引可能か判断する

この位置ではまだ、臍帯が切れていませんので、いったんこ

まで牽引して、最終判断を下しましょう。頭から出てきている場合、胎子の後頭部にまで問題なく手が回れば、経膈分娩が可能と言えます。

③陣痛に合わせた牽引を心がける

すべての確認が済んだら、少しずつ牽引しましょう。この時、母牛の陣痛に合わせて牽引することが大切です。介助者のタイミングだけで引いてしまうと、産道裂創や子宮脱の危険性があります。また、産後の疼痛が強いと、子牛のリッキングを行わない、子牛に攻撃を加えるなどのリスクもあります。母牛が力んだら引く、母牛が休んだら休む、ということを中心に心がけて牽引を行ってください。

・今後の対策

分娩介助は経験を要する難しい作業ですが、道具や工夫で楽になる場合もあります。介助が必要か、どんな処置が適切か、まず落ち着いて判断を下しましょう。



9月・10月の柑橘園管理



果樹
原口 悠貴
下島営農指導センター
080-2725-7775

1. 病害虫防除

品種	防除時期	対象病害虫	農薬名	収穫前日数	希釈倍数
極早生	収穫前	貯蔵病害	ベフトップジンフロアブル	収穫前7日まで	1,500倍
温州	極早生	黒点病	ナティーボフロアブル	収穫前日まで	1,500倍
	9月中旬	黒点病	ジマンダイセン水和剤	収穫前30日まで	600倍
	10月上旬	浮皮防止対策	シリカブロー		1,000倍
中晩柑	9月中旬	黒点病	ジマンダイセン水和剤	収穫前90日まで	600倍
	10月中旬	黒点病	ナティーボフロアブル	収穫前日まで	1,500倍
	発生初期	褐色腐敗病	ジャストフィットフロアブル	収穫前日まで	5,000倍
共通	9月上旬～中旬	ミカンハダニ・サビダニ	バロックフロアブル	収穫前14日まで	2,000倍
		ミカンハダニ	ダニオーテフロアブル	収穫前日まで	3,000倍
		ミカンハダニ・ホコリダニ	スターマイトフロアブル	収穫前7日まで	2,000倍
		ミカンハダニ・サビダニ	ダニゲッターフロアブル	収穫前日まで	2,000倍
	9月下旬以降	ミカンハダニ	ダニコングフロアブル	収穫前日まで	3,000倍
		サビダニ・ホコリダニ	コテツフロアブル	収穫前日まで	4,000倍
		発生時	カメムシ	スターグル顆粒水溶剤	収穫前日まで
	テルスターフロアブル		収穫前日まで	3,000倍	

2. 施肥

○通常タイプ

対象品種	肥料名	施肥時期	10a当たり
清見・甘夏・河内晩柑・パール柑・デコポン	果樹専用スペシャル	9月上旬	4袋
極早生	ニュー熊本果樹3号	10月上旬	7袋

3. 河内晩柑落果対策(10月)

1回目:マデックEW 2,000倍 (1~2分着色時) 2回目:マデックEW 2,000倍 (1回目から20日後)

4. 葉面散布

目的	薬剤名	希釈倍数	備考
果皮強化対策	ジューシーカル 又は バイカルティ	1,000倍	温州・デコポン等